

中部国際空港二本目滑走路の早期整備について

中部国際空港の事業推進につきましては、日ごろから格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

中部国際空港は、開港以来、成田国際空港、関西国際空港と並ぶ国際拠点空港として、我が国の航空輸送の発展の一翼を担っております。

この中部国際空港は、当地域における産業経済の基盤強化に重要な役割を担っているだけでなく、当地域の国際交流の拡大を通じて、日本全体の活力の維持・向上に大きく貢献しております。また、海上空港としての利点を活かし、大型特殊貨物等の海空一貫輸送が行える、非常に特色のある、大きな可能性を持った空港であります。

我が国が、現在の厳しい経済状況を脱し、今後更なる成長を実現するためには、日本の成長エンジンである当地域が、アジア新興国の成長等を取り込み、一段と国際競争力を高め、我が国経済を牽引していく必要があります。

また、リニア中央新幹線の開通による首都圏と直結した巨大都市圏の誕生という大きなインパクトや、大震災により顕在化した首都圏への一極集中による弊害を是正するために国の中枢機能を適切に分担するなどの大きな変化に、この地域は適切に対応しなければなりません。

このため、我が国の国際ゲートウェイの一翼を担う中部国際空港に二本目の滑走路を早期に整備し、完全24時間化を実現することが不可欠であります。

併せて、地域と国内外とを直結する航空ネットワークの維持・充実も不可欠であることから、急務である航空需要の拡大のため、エアポートセールスやインバウンド促進事業など様々な事業を地域一丸となって積極的に進めているところであります。

つきましては、中部国際空港二本目滑走路の早期整備に向けて、次の各項目について特別のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

- 1 中部地域ひいては国に不可欠な中部国際空港の完全 24 時間化につながるよう、新規就航の促進など航空需要の底上げを図ること。
- 2 中部国際空港の完全 24 時間化に向け、我が国の中枢機能を分担することなどこの地域の将来の姿を見据え、国が主体となって必要な調査検討を行うこと。
- 3 空港利用者の利便性向上のため、アクセスの充実に取り組むこと。

平成24年8月

中部国際空港二本目滑走路建設促進期成同盟会

会 長	愛知県知事	大村 秀章
副会長	岐阜県知事	古田 肇
副会長	三重県知事	鈴木 英敬
副会長	名古屋市長	河村 たかし
副会長	名古屋商工会議所会頭	高橋 治朗
副会長	一般社団法人中部経済連合会会長	三田 敏雄
参 与	中部国際空港株式会社代表取締役社長	川上 博